

# 週報



国際ロータリー  
第2560地区

## SanjoMinamiRotaryClub

2006~2007 年度  
2006年8月21日 第1798回 本年度第6回

2006~07年度  
クラブ会報特別企画

【出席率】 会員62名中40名

【先々週の出席率】 87.72%

【ゲスト】 第4分区分アシスタントガバナー 桑原寛治様(加茂RC)

【先週のメイクアップ】

8/10 燕 RCへ 天田 匡君  
8/16 三条RCへ 大久保秀男君 田中悌司君



あの人 あの時  
相田 明雄 君

### 会長挨拶

馬場 一敏 会長



挨拶を致します。

1. 8月14日はお盆のため休会でした。12、13日は非常に暑い日で、墓掃除、墓参りも暑苦しいものでした。  
8月13日に、一年交換留学生の阿部美聖さんが、ドイツへ出発致しました。新潟空港へは、鈴木武国際奉仕委員長、田代幹事、カウンセラーの長谷川晴生さんご夫妻にお見送りいただきました。  
お盆の忙しい時にご苦勞様でした。

2. ドイツからは、8月22日午後6時22分に、レーナさんが燕三条駅に到着します。これから1年間、留学生を迎えてのロータリーの活動が始まりますので、関係者のみではなく、皆様にも暖かく迎えて

いただき、楽しい1年間を過ごさせてやりたいと思います。

国際ロータリークラブ会長

第2560地区ガバナー

第4分区分アシスタントガバナー

会長 馬場 一敏

三条南ロータリー事務局

ウィリアム ビル ボイド [ニュージーランド]

中 條 耕 二 [三条北]

桑 原 寛 治 [加 茂]

幹 事 田 代 徳 太 郎 SAA 広 岡 豊 樹

〒 955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp URL http://www.sanjo-minami.jp

3. 本日は、アシスタントガバナー 桑原寛治様を迎え、10月2日の公式訪問の事前訪問日です。  
 ローターリーの対外的行事は、9月2日(土)の第4分区IM、10月2日(月)のガバナー公式訪問、10月8日(日)の地区大会を終了すれば、大半は終わったようなものだと思います。諸先輩方も「公式訪問が終了すれば楽になる」と言われましたが、今回は三条出身の中條ガバナーのため、『ありのまま』を見ていただき、楽しい勉強会、及び懇親会にしたいと考えております。  
 桑原アシスタントガバナーにおかれましては、良きご助言とご指導をお願い致します。また、当クラブの現況報告書は、早急に取り纏め、期日に間に合うように提出したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

## 1年交換学生情報

青少年交換委員会

- I 1年交換学生の三条東高校からのドイツへの派遣学生 阿部美聖さんは、8月13日(日)新潟空港からソウル経由で出発しました。  
 翌14日には、「無事ドイツに着きました。昨日は、見送りに来て下さって本当に有難うございました」とのお礼のメールが南クラブ事務局に届きました。
- II 受入となるドイツからの交換学生 レーナさんについての情報です。  
 来日日程は明日8月22日(火)です。当日は、プロジェクト委員の安達さんとお嬢さん、最初のホストファミリー阿部さんのお母様の3人で成田空港まで出迎えに行ってください。  
 燕三条駅に、夕方6時22分に到着予定、プロジェクト委員会のメンバーで出迎えに行きます。  
 24日に諸手続きで東高校に行き、始業式は29日(火)です。  
 なお、南クラブ初出席は、9月4日の例会となります。



～ 8月21日 ¥17,000 今年度累計 ¥154,000 ～

- AG 桑原様** AGとして第2回目の訪問です。ちょっとロシアから帰ったばかりでボケておりますので宜しく！
- 馬場(一)君** 桑原AG、本日はよろしくお願い致します。
- 田代君** 桑原AG、本日はご出席いただき有難うございます。
- 吉田(秀)君** 先週の例会は休会でしたが、8月14日は私の誕生日でした。満79歳になりました。
- 相田君** 桑原AGの訪問を歓迎します。
- 馬場(信)君** RI第2560地区第4分区アシスタントガバナー 桑原寛治さんを歓迎致します。  
 本日のご指導 楽しみにしています。
- 坪井君** 暑い日が続くと思ったら急に雷雨があつたりして不規則な天気です。こういう時は体調を壊しやすいです。ご注意下さい。  
 桑原アシスタントガバナーご苦労様です。
- 佐藤(栄)君** 高温が続き、夏バテで苦しんでおります。疲れを知らない高校球児、決着は如何に！！
- 滝口君** 今日は天気予報が当たり、雨が少し降った。朝の水やりをやめておったので助かった。BOXに協力
- 岡村君、田中(悌)君、野崎君、野中君、渡邊(久)君** BOXに協力致します。
- 熊倉君** 初めてのBOX担当、ご協力有難うございました。

## 「日口友好訪問団にお伴して」

第4分区アシスタントガバナー  
桑原 寛治 様 (加茂RC)



先ずもって、馬場信彦さん、ガバナーノミニーという事で大変おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

馬場さんとは以前より商店街の関係で存じておりました。6月22日、私が三条東RCへ初訪問した時に馬場さんが丁度卓話者としておられ挨拶しましたが、その時、「まだノミニーがはっきりしておらず、さあどうなることやら、前のこともありますので。」と謙遜なさっておられましたが。ガバナーの要職は大変ハードなスケジュールをこなさなければなりません。今からお身体を鍛えておいていただければとお願いします。

その時の加茂クラブの会長は、湯田上温泉『ホテルわか竹』の女将、塚野一二三さんが予定されていますが、2560地区初の女性会長になります。そして、塚野さんは私が30周年の会長時、1991年、今から15

年前の入会でしたが、地区初の女性会員誕生でもありました。今では110人の女性会員がおりますが。

馬場年度は加茂クラブも大いにバックアップしてゆきたいと思えます。また、その時のAGは順番から次年度が分水RCですので見附クラブからのAGという事になろうかと思えます。

いずれにしても、この第4分区から一年おいてガバナーを輩出することは大変名誉なことで、今から会員増強など力を入れ、しっかりした土台造りを私なりに頑張りたいと思えます。

去る7月3日から三条南さんを皮切りに分区内11クラブをIM実行委員長と初訪問をし、挨拶やらIMの登録をお願いして廻りました。お蔭様で9月2日の加茂でのIMは206名のメンバーから登録をいただき、特に三条南さんから30名と一番多くの登録をいただきお礼申し上げます。只今、実行委員会で準備中ですが、何とか手作りの意義あるまた楽しいIMとしてゆきたいと思っておりますのでご期待下さい。

また、公式訪問ですが、第4分区内では三条南さんは二番目で10月2日です。すでに8月1日に分水クラブがとび抜けて早く公式訪問を終えております。他は11～12月に集中しており、12月19日に三条北クラブを最後に、中條ガバナーの56クラブ訪問の完了という事になります。

南さんのスケジュールを見させていただきました。4時からミーティング、5時から例会行事で7時10分から懇親会と予定されておられますが宜しくお願いします。

分水クラブでしかまだお伴しておりませんが、中條ガバナーはクラブ協議会の中、各委員会に対して一つ一つ丁寧にアドバイスされ、他のクラブの事例も参考にしてお話されています。懇親会でのお酒は身体を気遣ってか多くは飲まれません。飲まれませんが一一人一人お酌に廻って話をされておられます。私は、中條ガバナーのかわりに酒でもビールでもひっきりカエルほど飲みますので宜しくお願いします。

現況報告書が出来ましたらガバナー事務所へ2冊と私の方に1冊早めにいただければ幸いです。

時間も大分ありますので日口友好訪問団の報告を致します。

ご存知の事と思えますが、この8月お盆の14日から18日までの4泊5日で第2560地区の日口友好訪問団にAGとして同行して参りました。中條ガバナーを名誉団長として、団長に岩崎地区国際奉仕委員長(長岡東RC)、一行40名の大人数でハバロフスクとカムチャツカを訪問して無事帰って参りました。

加茂クラブからは私を含め5名参加しましたが、そのうち4名は昨年の8月末にウラジオ経由でカムチャツカへ行っており2度目の訪問でした。

そもそも私共のカムチャツカ行きのキッカケは単純でして、ご存知のように加茂は春になりますと『雪椿祭り』をやっております。その主役にミス雪椿コンテストを行い3人を選びますが、平成16年の第38回のミスに、当時新潟経営大学に留学していたロシアの美女が選ばれたということから始まるのです。名前はスヴェトラナさん、すぐに親父さんがお祝いにつけ、そのパーティの席で「是非カムチャツカに」という事から、「じゃ、サケでも釣りにゆこうか！」

加茂クラブは私を会長に釣りクラブがありまして、約10人のメンバーで、私はハマちゃん、涌井建設の社長がスーさんとして、このハマちゃんとスーさんの他3名が行くことになったわけです。

さて、雄大なカムチャツカの大河でビックサーモンをねらって竿を入れました。まず、岸からのフィッシングの1時間、誰も1匹も釣れず、昼食後大きなゴムボートに分乗して流れの中でルアーを投げ入れたのですが、スーさんが3匹、私にはたった1匹の約30cmのサーモンがかかったくらいでさっぱり。ガイドによるとサケの遡上が終わった後で時期が悪かったとか・・・。

突然約15m近い岸边にのっそりと2mほどの巨大ヒグマが現れびっくり。ガイドがピーツと鋭い口笛を吹くとひょいとこちらを向いて私の眼と眼が合っただけで、向こうがスタスタと逃げて行きましたが、この光景をスーさんがシャッターを切ったのですが何も写ってなくてがっかり。スーさん手が震えてあらぬところを撮ったとか。

いろんな初体験の連続で、未だ手つかずの富士山がいっぱいあるような大自然を満喫しましたが、私はロシアにロータリーがあることをそれまで知りませんでした。行ってびっくり！ ハバロフスクとかはまだしも、カムチャツカに3つのロータリークラブがあったのです。その一つのアバチャンスキークラブとの交流パーティでは20名中10名の女性会員の歌やら踊りなどの大歓待を受けて私共も盛り上がり遅くまで白夜を楽しみました。そして、どちらかとも無く“友好クラブに”との言葉が出ました。

4日間の楽しい思い出を土産に、帰国時にまた大変なハプニングが起きました。朝7時30分に空港に着き、カムチャツカからウラジオ経由で新潟空港に日本時間で午後2時に着く予定が、カムチャツカの飛行機の不整備(?)で7時間遅れてメチャクチャとなり、結局はウラジオ泊、翌日関空経由で加茂へ着いたのが夜の10時ということで、ロシアの国情を垣間見たわけです。「もう二度と行くところでもない」と思っておったのが今年もカムチャツカへ行くことになろうとは・・・。

今年の2月にサンディゴでの国際協議会でRIIは各地区各クラブにロシアのロータリークラブとの交流と支援を呼びかけました。「ロシア極東と向かい合う第2560地区として動かなければ」と思っておりました中條ガバナーの隣に、偶然にも、カムチャツカロータリークラブを創設した日系二世のスティーブ・ヨシダさんが居られました。帰国後、加茂クラブの話しを聞かれ、地区と地区との交流を決意し、日ロ友好訪問団と相成った訳です。

ロシアと日本、とりわけ新潟とは本当に近いんです。

新潟空港から午後3時半にフライトして7時40分に着くとありますが、時差が2時間足してありますので、正味5時40分で、約2時間10分でハバロフスクに着くという事です。

空港からハバロフスク市内にある一番のホテルに直行して、服装そのままに早々に2560地区と5010地区との「友好調印式」となりました。

ハバロフスクにはロータリークラブは1つしかなく、当日の出席者はガバナー他25名で、女性が10名位居たでしょうか。持参しました横断幕を掲げての調印式で、お互い地区同志の友好を誓い合って署名し、その後のパーティは、交歓係の加茂クラブの用意した赤いハッピー、扇子などのプレゼントや日本の歌やロシアの歌の合唱で盛り上がり、最後は“手に手つないで”これからの友好を誓い合いました。



8月15日朝、ハバロフスク空港へ向かう途中、戦後シベリアで抑留され亡くなった日本人の慰霊碑に花束と線香をあげて参拝しました。終戦記念日でもあり感慨もひとしおでした。丁度その頃に日本では、小泉首相の靖国参拝が放映されていた時間帯かと思われそうですが。

ハバロフスクからフライトして約2時間。こっちでも2時間時計を早回して2時25分、カムチャツカ半島で一番大きなペトロパブロフスク・カムチャツキー空港に着き市内観光しながらホテルに向かいました。

昨年はこの空港に降り立ったとき、富士山まがいの美しい山々が迎えてくれましたが、この日は霧と小雨で何も見えずがっかりしましたが、この先16日から18日の3日間は晴れる日なく、どんよりした梅雨まがいの悪天候でカムチャツカの大自然を満喫できず誠に残念な思いでした。

ホテルの近くの図書館の大ホールで今度は、加茂クラブとアバチャンスキークラブの友好クラブの調印式と地区からのボイラーなどの贈呈式を約50名の参加のもとで行い、ホテルに戻ったの交歓パーティをウオッカの乾杯を繰り返して乍らロシアの女性会員と踊り、歌って約3時間、楽しいひとときを過ごしました。カムチャツカは白夜で午後10時頃ようやく暗くなるので夜の感覚が全く感じられません。

8月16日、さあー！空から山から海から手つかずの大自然をたっぷり味わうと張り切ったんですが、あいにくの霧と小雨で視界が悪く、一番楽しみにしていたヘリコプターによるツアーは中止となってがっかり！

アバチャ高原のトレッキングは大半のメンバーが参加、天国かと思われる大自然のパノラマを満喫したとの事です。この日早朝に貝殻島で日本のカニ籠漁船がロシア警備艇に1人が銃殺、3人が逮捕のニュースが流れ、友好地区、友好クラブの調印の直後だけにびっくりもし、心配もしたわけです。

8月17日、朝靄のかかったアバチャ湾を12人でスターリーチェコフ周遊1日クルーズで外航船に乗って元気に出航！までは良かったのですが、波はそんなになかったのですが、横揺れがあったり、スープの変な匂いとかで約半数が船酔いでダウン！下の部屋で横たわってましたが、私、ハマちゃんと涌井スーさんはいたって元気で、スタリチロワ島へ船外機付ゴムボートで行き、アザラシ約100頭の出迎えを受け、エトピリカやウミウや3本指カモメの断崖の巣づくりを間近に見たりですごい体験をしました。また、午後からの帰りで急に海軍の演習とかで約1時間の足止めを喰っての停泊。その間にハマちゃん、スーさん、早速釣り糸をたれ、60cmのでかいカサゴやメヌケを10匹程釣り上げるなど、ベーリング海を大いに楽しみました。

もう一つのツアーの工場見学は缶詰工場と思いきや、製缶工場とくさい飼料工場で、午後からの湾内半日クルーズは、海軍の演習のため中止したという事でした。

8月18日、カムチャツカからハバロフスクを経過して新潟空港へと時差4時間足して2時5分に着き、我が家到着は4時、早速風呂にゆっくりつかり、冷たい日本のビールを飲み、刺身やてんぷらを喰って、いつもですが、「アア、やっぱり日本が、我が家が一番」と癒された次第です。

今回の日ロ友好訪問の旅、極東ロシアに一番近い 第2560地区と 5010地区、そして、加茂クラブとアバチャンスキークラブとの友好調印は、RIが主張するロシアとの交流や支援に沿うアクションとして大いに評価され、これを契機に他の地区やクラブも動き出して欲しいものと願う次第です。

観光は些か天候に恵まれず名残もありましたが、日本の1.3倍ものカムチャツカ半島の生活ぶりや社会状況など体験したりで見識も深まったかと思えます。

この事業を中條年度のみでなく、地区の継続事業にしてゆかれんことを次々年度の馬場ガバナーノミニーにお願いしまして卓話を終わります。ご静聴ありがとうございました。



## 四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| I 真実か どうか  | III 好意と友情を深めるか    |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるか どうか |